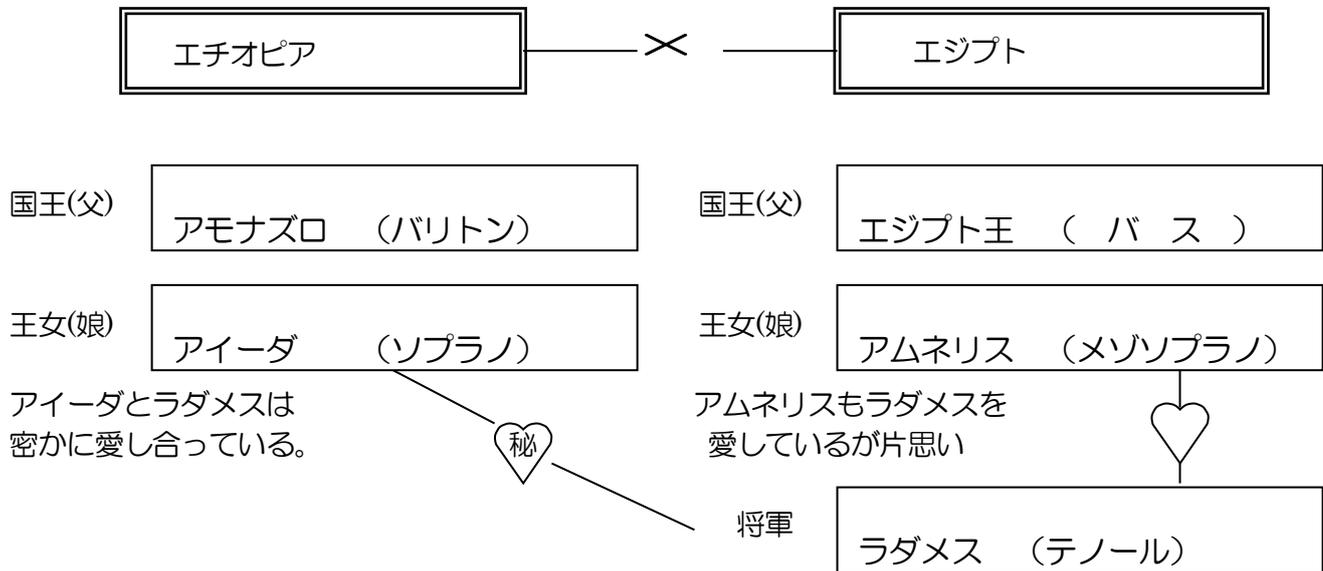


歌劇 『 アイーダ 』

3年 組 番

主な登場人物

エチオピアは強大なエジプトとの戦いに敗北を重ねながらも、独立のために戦おうとしている。アイーダはエチオピアの王女だが、この2つの国の戦いで囚われて、奴隷の身になっている。そして、自分の身分について秘密のまま、エジプトの王女アムネリスに仕えている。



《第1幕・第1場》

祭司長ランフィスがラダメスに「再びエチオピアと戦争になる。神は我がエジプト軍の将軍になる男の名前をお告げになったぞ。(その名はあとでわかる)」と話す。

その話を聞いたラダメスは「もし自分が将軍になったら愛するアイーダに故国を返して、幸せにしてあげたい。君は私の命の輝きだ。」と愛するアイーダを想って歌う

アリア 『 清きアイーダ 』

↓

主要な登場人物が心情などを情緒的に歌う独唱曲。(オペラの中では聞かせどころのひとつ)

《第1幕・第2場》

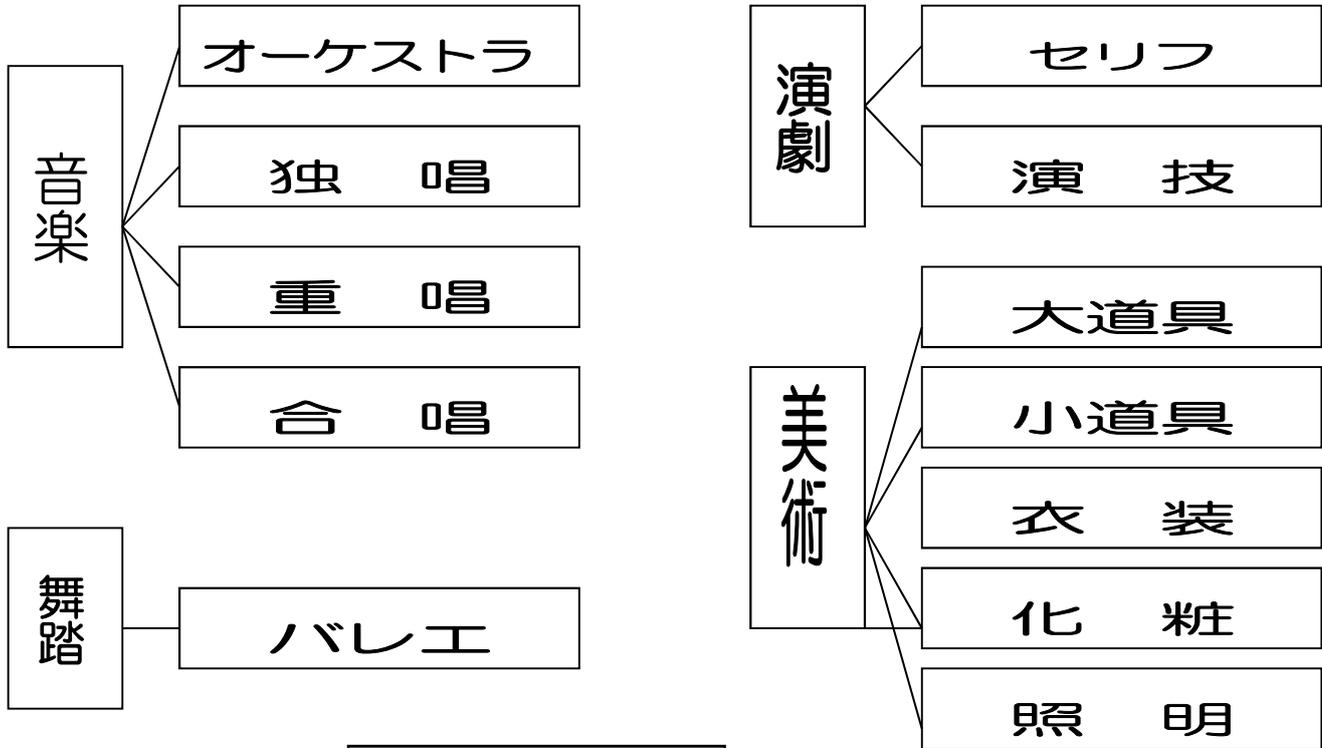
～ 出陣の場 ～

エジプト国王のもとに家来が集められ、国王がラダメスを指揮官(総大将)に命じ、一同は「勝って帰れ」と励まし、送り出す。

一人残ったアイーダは「勝って帰れとは、父と恋人を戦わせること。」と苦しみ悩む心を歌う。

アリア 『 勝ちて帰れ 』

オペラ(歌劇)とは？



これらが一体となった **総合芸術** である。

オペラとは・・・

(歌) を中心にして (音楽) で (物語) を進めていく (劇)

♪歌劇『アイダ』を鑑賞し、歌劇(オペラ)の魅力がどんなところだと思うか。あなたの考えを書いてください。なぜそう思うのか、理由も書いてください。

『アイーダ』授業の流れ ～オペラの魅力を探る～

《第一時間目》 オペラの概要について知る

- ① オペラについて知っていることなどを出し合う。
- ② オペラが音楽で進める演劇であることを簡単にわかるような場면을視聴する。
例 第2幕第2場の一部などを使用する。
- ③ これから学習する「アイーダ」の登場人物や人間関係、それぞれの担当歌手の声域について学習し、ワークシートに記入する。
- ④ 第1幕第1場と第2場のアリアを視聴し、アリアがオペラの聴きどころの一つであることを伝える。
→ワークシートへの記入

《第2時間目》 オペラでの音楽の特徴をつかむ

- ① 第2幕第1場のアイーダとアムネリスの会話シーン(場面①～⑪)の内容を紹介し、通して視聴する。
- ② 場面①②⑩⑪をそれぞれの視聴し、歌、オーケストラについて感じたこと気づいたことをワークシートに記入する。
- ③ 記入後、交流する。気づいたことについてその場면을改めて視聴するなど、交流したことを共有するようにする。
- ④ 第2幕第2場をダイジェストで鑑賞する。
ワークシート記入

《第3時間目 ①》

- ① 今まで学習してきたことを視聴しながら簡単に確認
- ② さまざまな芸術要素があることに気付かせる。
- ③ ワークシートに記入
- ④ オペラの魅力についての自分の考えを記入させる。

《第3時間目 ②》

- ① 今まで学習してきたことを確認
- ② 第3幕のあらすじを簡単に説明。ダイジェストで鑑賞する。
- ③ 今まで鑑賞してきた内容、学習してきた内容をもとに、ワークシートにオペラの魅力について自分の考えを記入させる。
- ④ ③の内容を交流する。